

「新しい生活様式」における感染予防対策

全国的に新型コロナウイルスの感染者数が大幅に増加しています。
これ以上の感染拡大を防ぐために、「新しい生活様式」のもと適切な感染防止策を一人ひとりが実践しましょう。

感染リスクが高まる「5つの場面」

場面① 飲酒を伴う懇親会等

- 飲酒の影響で気分が高揚すると同時に注意力が低下する。また、聴覚が鈍麻し、大きな声になりやすい。
- 特に敷居などで区切られている狭い空間に、長時間、大人数が滞在すると、感染リスクが高まる。
- また、回し飲みや箸などの共用が感染のリスクを高める。



場面② 大人数や長時間におよぶ飲食

- 長時間におよぶ飲食、接待を伴う飲食、深夜のはしご酒では、短時間の食事に比べて、感染リスクが高まる。
- 大人数、例えば5人以上の飲食では、大声になり飛沫が飛びやすくなるため、感染リスクが高まる。



場面③ マスクなしでの会話

- マスクなしに近距離で会話をすることで、飛沫感染やマイクロ飛沫感染での感染リスクが高まる。
- マスクなしでの感染例としては、昼カラオケなどでの事例が確認されている。
- 車やバスで移動する際の車中でも注意が必要。



場面④ 狭い空間での共同生活

- 狭い空間での共同生活は、長時間にわたり閉鎖空間が共有されるため、感染リスクが高まる。
- 寮の部屋やトイレなどの共用部分での感染が疑われる事例が報告されている。



場面⑤ 居場所の切り替わり

- 仕事での休憩時間に入った時など、居場所が切り替わると、気の緩みや環境の変化により、感染リスクが高まることもある。
- 休憩室、喫煙所、更衣室での感染が疑われる事例が確認されている。



会食の際の注意

- 特に、大人数での忘年会・新年会は開催を見送りオンラインでの開催等を検討する。
- 体調が悪い人は参加しない。
- 「4人以下の単位」を基本とする。
- 飲酒をするのであれば
 - ① 少人数・短時間で、
 - ② なるべく普段一緒にいる人と、
 - ③ 深酒・はしご酒などはしない
- 箸やコップは使い回さず、一人ひとりで。
- 席の配置は斜め向かいに（正面や真横はなるべく避ける）。
- 会話する時はなるべくマスク着用。（フェイスシールド・マウスシールドはマスクに比べ効果が弱いことに留意してください。）
- 換気が適切になされているなどの工夫をしている、業種別ガイドラインを遵守したお店で。



感染を疑う症状があるときの相談・受診について

- かかりつけ医がいる方
かかりつけの場合には、耳鼻科など内科以外の医療機関でも診察していただける場合があります。必ず事前に電話連絡の上で診察を受け、医師の判断を仰いでください。
- かかりつけ医がいないまたは受診が必要か判断に迷う場合
「流山市新型コロナウイルス相談専用ダイヤル」に相談してください。受診可能な医療機関をご案内します。

電話：04-7138-6121（平日 8:30～17:15、12月29日から1月3日も実施）

F A X：04-7155-5949

相談専用ダイヤルの開設時間外に相談をご希望の方は、千葉県発熱相談コールセンターをご利用ください。

電話：03-6747-8414（24時間体制、土日・祝日含む）

F A X：043-224-8910

流山市